

お客様紹介

独立行政法人 造幣局 様

(ISO9001:2015、ISO14001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino



造幣局創業150周年 記念ロゴマーク

独立行政法人造幣局様は、1871年に明治政府により、現在の大阪市に創設され、今年で創業150周年を迎えられました。大阪市の本局に加え、さいたま市と広島市にそれぞれ支局を有し、貨幣の製造、勲章・褒章の製造、貨幣セット・金属工芸品の製造販売及び貴金属製品の品位証明等を手掛けられています。2003年に国の特別の機関から独立行政法人に移行することを機にISO9001を、2005年にはISO14001を認証取得され、昨年、審査機関をインターテックに変更されました。昨年の再認証審査は、3サイト、審査員7名にて実施しました。

審査で確認された優れた点の一つに、造幣局様では、2015年版への移行をきっかけに、業務プロセスとして本来業務の規程集の中へ緻密に融合されていることです。社内規程とは別に品質・環境マニュアルを設けている組織が多い中、重複の弊害を解消する、優れた取り組みと思われました。

また、造幣局様では、世の中に流通して摩耗するなど古くなった貨幣を、貨幣製造過程で発生した端材と合わせて、溶解炉で貨幣用



溶解炉での回収貨幣の溶解風景



勲章製造（七宝釉薬手盛り）作業風景

ない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給するため、日々製造技術の維持向上に取り組まれているとのことでした。

貨幣の他にも、全国ニュースで毎年報道される春の叙勲・秋の叙勲にて授与される勲章や褒章を製造されています。勲章・褒章は、国家又は公共に対し功労のある方、社会の各分野



造幣局本局庁舎工場・博物館と桜（大阪市北区）

における優れた行いのある方などを表彰するものです。それに相応しい重厚で品格



創業当時の造幣局（C.N.Mancini画：造幣局所蔵）

のある勲章等を製造するために、これまで培われた手作業等の練達した伝統技術を維持・継承すると同時に、機械導入による効率化にも取り組まれています。

500円貨幣は、5スイスフラン貨幣に次ぎ、1枚当たりの価値が世界で2番目に高い貨幣とのことで、潜像（見る角度により文字等が見え隠れする加工）、斜めギザ、微細加工などの偽造防止技術が施されてるそうです。さらに、今年は、バイカラークラッド構造（三層構造のコアを、それとは異なる材質のリングに嵌め込んだもの）や、異形斜めギザ（斜めギザの一部を他とは異なる形状にしたもの）などの、世界最高水準の偽造防止技術を加えた、新しい500円の発行が予定されています。「信頼と挑戦」を行動指針として、150年の長い歴史を有しつつ、今も新たな業務展開に臨まれているとのことでした。



今年発行予定の新しい500円貨幣